

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）【児童発達支援】

公表：令和2年3月13日

保護者等数(児童数) 12 回収数 10 割合 83%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制設備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%				お部屋もたくさんあり、廊下も長く、走り回れるくらい広いと思う。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか。	90%			10%	人数も専門性も適切であると思う。	受講した研修等を掲示するなど見える化していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	80%	10%		10%	子ども本人がどう思っているかよくわからない。	お知らせボード等を玄関に設置し、いろいろな情報を提示していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%				木の造りで心地よく、裸足でも過ごせるのが良いと思う。子ども達の活動にあった空間だと思う。	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%				できる事やできない事等、課題を見つけて取り組み、計画表が分かりやすく作成されていると思う。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	80%	10%		10%	児童発達支援ガイドラインの内容があまりわからない。 子どもにとって具体的な支援内容が設定されていると思う。その内容に沿って、日頃の生活を見直していきたい。	支援内容をより具体的に設定し丁寧な説明を行います。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%				本人のペースに合わせて、先生方が関わってくれていると思う。	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	80%	10%		10%	お絵かきがあったり、調理があったり、様々な活動があり工夫されていると思う。	活動プログラムについて、職員で話し合いの場を持ち、種類を増やしていきます。実施した際には、連絡帳等で伝えていきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	50%			50%		併行通園先等との交流を実施していきます。近隣の園についても交流を計画していきます。
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	90%	10%				託児等、環境を整え、より丁寧な説明を行います。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100%					
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	60%	10%		40%	子どもの共感してほしい気持ちに寄り添い褒めたり抱きしめたり、一緒に遊んだり関わる事を意識している。	ご利用児の保護者に対してペアレント・プログラムを実施して行きます。また、地域に向けても計画していきます。

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%				日頃から子どもの様子等を細かく伝えてくださり、連絡帳を通して活動内容も見えてくる。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	80%	20%			育児に関して具体的なアドバイスがあり、こちらの思いも聞いてくれる。	定期的に個別面談の日を設けていきます。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	70%	10%	10%	10%	おしゃべり会に参加して、情報交換できてよかった。	おしゃべり会の内容等について、アンケートにて保護者のご意見を募ります。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に、迅速かつ適切に対応されているか	70%	20%		10%		個別面談日を活用し、対応の体制を整備していきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	90%	10%			プリンちゃんのできごとや、情報伝達や配慮もなされている。	送迎時や連絡帳等で、より丁寧に様子等を伝えていきます。また、個別面談日を活用し、ご利用児や保護者の意思を確認していきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	90%	10%			プリンちゃん便り等で、行事予定や子どもたちの様子の写真等掲載されていて、分かりやすい。	ホームページ等に掲載されたことをお便りでお知らせします。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	100%					
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	60%	10%		30%	防犯マニュアル等、あまりわかっていなかった。	マニュアルを整備し、周知していきます。訓練の内容も、いろいろな場合を想定し、実施していきます。
非常時等の対応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	80%			20%		お便りの行事予定に掲載します。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				プリンちゃんでは、お友だちも声をかけてくれ、十分遊ばまわって楽しんでいると思う。	
	23	事業所の支援に満足しているか	100%				家ではできないことをさせて頂き、大変満足している。	

令和元年度 事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	回答率	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制設備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	100%		100%	ご利用児の特性や、活動内容によって、部屋を分けたり、開放しています。
	2	職員の配置数は適切であるか。	100%		100%	基準を満たして配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	87.5%	12.5%	100%	センター内はバリアフリー化しており、スケジュール等も視覚的に理解しやすいように壁に貼ったり、個別のスケジュールを作成しすぐに見直せるようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	100%		100%	必要に応じて室内の間仕切りを開閉しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	62.5%	12.5%	75%	法人のQC研究発表会に参加したり、職員間での情報共有に努めています。
	6	保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	87.5%		87.5%	保護者等から評価をいただき、業務改善に努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	87.5%		87.5%	法人のホームページにて公表しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%		75%	第三者評価を受審し、業務改善に努めています。
	9	職員の資質の向上を行うため、研修の機会を確保しているか。	100%		100%	圏域や県内のネットワークに参画し、研修を受けています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画書を作成しているか。	100%		100%	6カ月に1回モニタリングを実施し、ご利用児や保護者のニーズを確認したうえで、作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	62.5%	25%	100%	・他事業所にてOT, STを受けているご利用児については、実施計画書を頂き共有しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	87.5%		87.5%	すべての項目を、支援計画に盛り込んでいますが、発達支援を主にして計画を作成しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	87.5%		87.5%	個々の発達支援計画に沿って支援しています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	62.5%	12.5%	75%	1カ月の日々の活動内容を決め、それに沿って支援者間で話し合いながら決めています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	87.5%	12.5%	100%	支援者間で共有しながら、種類を増やしたり内容の変更等行っています。

適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか。	100%		100%	ご利用児一人ひとりの特性を理解し、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	87.5%		87.5%	定時に朝礼を実施しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	37.5%	50%	87.5%	全員でできないこともあるが、その日の変わったことはその日のうちに情報共有するように努めています。
	19	日々の支援に関して、記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		100%	個別に記録を取り、特記事項があった場合には支援者間での情報共有を行っています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	100%		100%	・6カ月に1回はモニタリングを実施し、計画の見直し等の必要性を判断しています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	87.5%	12.5%	100%	ほとんどの場合、行けるように調整しているが、行けない場合にも、ご利用児の様子を記載したものを持って参加するようにしています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	100%		100%	必要な関係機関と情報共有を行い、必要に応じて電話連絡や会議等を行いながら連携しています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		100%	関係者が参加する会議を実施しています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		100%	関係者が参加する会議を実施しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	100%		100%	圏域のネットワーク事務局として、他施設との情報交換や研修開催を年2回企画しています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	50%	37.5%	87.5%	外出支援にて児童館や公園に行っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%		100%	該当する専門部会には参加できています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		100%	連絡帳にその日の出来事や様子を記載し、送迎時にも様子を伝えて共通理解を図っています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか。		62.5%	62.5%	ご利用児の保護者に対して、ペアレント・プログラムを実施していきます。

保護者への説明責任等	32	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	87.5%		87.5%	契約時に、必ず説明し、質問を受けた場合にも対応しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	87.5%		87.5%	児童発達支援計画書は、保護者に支援内容を説明し、その際に同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%		100%	職員間での情報共有に努めています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	100%		100%	保護者が集まれる機会（おしゃべり会）を設けています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		100%	苦情受付の担当者、解決に至るまでを記録するシートが決められています。また、苦情を受けた際には、早急に検証と面談を実施している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		100%	毎月、「プリンちゃん」便りを発行しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか。	100%		100%	個人情報に関する書類関係は鍵のかかるキャビネットで管理しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	87.5%		87.5%	個別に対応できるよう、視覚支援カード等を活用しています。
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	62.5%	37.5%	100%	センター独自の行事はないが、法人での行事に参加しています。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		100%	各マニュアルを作成し、非常時に対応できるようにしています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		100%	毎月、定期的の実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		100%	服薬やてんかん発作等については、契約時の聞き取りの際に、事前に確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	12.5%	87.5%	アレルギーや服薬のあるご利用児に対しては処方箋を提出して頂くなど、慎重に対応しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	100%		100%	毎月のヒヤリハットをまとめ、職員全員で会議や朝礼等で共有しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		100%	法人内での研修や外部での研修に参加し、虐待防止への意識向上に努めています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分な説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	75%	12.5%	87.5%	個別支援計画へ記載しています。また、やむを得ず身体拘束を行った場合には、記録に残し、保護者への説明を丁寧に行います。